

コンプライアンス規程

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規程は、株式会社百（以下「法人」という）の、事業活動を行う上で基本原理となる当社及び関係会社のコンプライアンスに係る基本事項を定め、一貫した方針の下に公正、明朗な事業運営の確保に資することを目的とする。

(基本方針)

第2条 当社はコンプライアンスの実行を経営や事業に関わる重要課題と認識し、以下の基本方針で積極的な取り組みを行う。

1. 法令を遵守するとともに、企業倫理及び社員の行動規範の達成を図る。
2. 公正で明朗な事業運営に努め、よき企業市民を目指すことを追求する。

(適用範囲)

第3条 本規程は、当社のコンプライアンスについての基本方針及び推進体制の概要を定めるものであり、コンプライアンスに関する各種規範の中で、最上位規範として位置づける。役員、従業員は、本規程に定める事項を遵守するとともに、本規程に基づき対応する。

(担当部署)

第4条 コンプライアンスに関する業務は、総務部が行うこととする。

第2章 コンプライアンス体制

(コンプライアンス体制)

第5条 コンプライアンス実行の最高責任者は、代表取締役とする。

2. コンプライアンスを適切に行うために、最高責任者の下にコンプライアンス委員会を設置する。
3. 総務部に、コンプライアンス活動の調整窓口として、コンプライアンス委員会事務局を置く。
4. コンプライアンス所管部署は、コンプライアンス委員会の方針を受けてコンプライアンスに係わる活動を実施する。

(コンプライアンス委員会の構成)

第6条 コンプライアンス委員会の構成は、以下のとおりとする。

1. 委員長 ：代表取締役

- 2. 委員 : 取締役、外部委員
- 3. 事務局 : 総務部

(コンプライアンス委員会の役割)

第7条 コンプライアンス委員会は、以下の役割を担う。

1. 平常時

- (1) コンプライアンスに係る方針、施策、年次計画の策定
- (2) 新たなコンプライアンス事項に関する対策の検討・決定
- (3) コンプライアンスに係わる情報管理に関する対策の検討・決定
- (4) コンプライアンス対策（対策の優先順位付け）及び対策に対する定期的な見直し
- (5) 事業、その他業務に係る個別コンプライアンス事項の管理状況の把握
- (6) コンプライアンス所管部署が推進するコンプライアンス対策の進捗確認
- (7) その他コンプライアンスに関する指導監督、助言

2. 不祥事発生時

- (1) 不祥事発生時のコンプライアンス委員長の補佐及びコンプライアンス委員会事務局への助言

(コンプライアンス委員会の開催)

第8条 コンプライアンス委員会は、原則として年1回以上開催する。但し、不祥事発生時等、必要がある場合は随時これを開催する。

(コンプライアンス委員会事務局の業務)

第9条 コンプライアンス委員会事務局は、以下の業務を実施する。

- 1. コンプライアンスの実行に関する総合調整
- 2. コンプライアンス委員会の運営事務
- 3. コンプライアンスに係わる情報の収集・分析
- 4. コンプライアンス体制に関する調査
- 5. コンプライアンスに係わる動向の把握、委員長への報告

(コンプライアンス所管部署の役割)

第10条 コンプライアンス所管部署は、以下の役割を担う。

1. 平常時

- (1) コンプライアンスに係わる事項の洗い出し、評価、見直し
- (2) 洗い出したコンプライアンスに係わる事項に対する対応準備
- (3) コンプライアンス委員会委員長の指示によるコンプライアンス対応計画の作成、報告

2. 不祥事発生時

コンプライアンス委員会委員長の一元指揮の下での情報収集、対策検討

第3章 コンプライアンス活動

(コンプライアンスに係わる事項の洗い出し・評価)

第11条 コンプライアンス所管部署は、定期的にコンプライアンスに係わる事項を洗い出し、コンプライアンスの種類、想定されるシナリオ、発生の頻度及び損害の程度を評価すると共に、必要な対策を講じる。

2. 新規事業等の新規案件を提案する場合は、当該案件の責任者が当該案件に係るコンプライアンスに係わる事項の洗い出し及び評価を行うとともに、その内容及びコンプライアンスに係わる事項の低減策を明らかにする。

3. コンプライアンス委員会は、各コンプライアンス責任者から提出されたコンプライアンスに係わる事項の洗い出し・評価の報告を分析し、会社としての対応優先順位を定める。

(関係会社・主要取引先とコンプライアンス対策)

第12条 コンプライアンス所管部署は、関係会社や主要取引先などに対し、コンプライアンスに係る体制整備の推進について協力を求めるとともに、当社のコンプライアンス活動と連携が図られるように調整する。

(コンプライアンス監査)

第13条 コンプライアンス委員会は、必要に応じ、全社又は特定部門のコンプライアンスに係る監査を実施する。

第4章 不祥事発生時の対策

(不祥事発生時の対応)

第14条 当社の経営、事業に大きな影響を与える不祥事が発生した場合、業務規程により対応する。

(事後対応及び再発防止)

第15条 事態の収束後は、当該事案に係るコンプライアンス所管部署が中心となり、速やかに事態発生の原因分析、緊急対応上の問題点、再発防止策等を取りまとめ、コンプライアンス委員会に報告する。

(コンプライアンス体制の改善)

第16条 コンプライアンス委員会は、報告事項を評価し、コンプライアンス体制の改善を図る。

付 則

(実施期日)

第17条 この規程は、2022年7月1日より実施する。